

きょうとかんじたんけんたい なに 京都漢字探検隊って何？

ぞう ちゅうごく かんじ あ
象は、中国にいないのに、どうして「象」という漢字が有るの？

いろ あらわ す字に「いとへん」や「くさかんむり」のつくものが多いのはなぜ？ **紅** **藍** **みどり**

こんなことを **かんが** えたことはありませんか。漢字ができたのは、大昔の中国です。でも、わざわざ中国へ行かなくても、**いま**の京都でその**こた**を**み**つけることができます。「京都漢字探検隊」は、**きょうしつ**から**と**飛び出して、みんなで漢字の**なぞ**を探ります。

おうちの方へ

「人」「動物」「自然」「道具」等、毎回一つのをテーマとして、公共施設等を見学、実物を見学したり体験したりして、漢字の成り立ちを学習します。

漢字と各分野の専門家による解説を行います。

2008年度は、年6回程度の実施を計画しています。(詳細は決定次第お知らせします)

しらかわしずか

白川静 っただれ？

漢字の成り立ちを調べると、大昔の人の暮らし方や考え方が分かります。これまでは、2000年前の字書に書かれていた成り立ちを、後の人もずっとそうだと考えていました。

しかし、およそ50年前に白川先生は、大昔の人が亀の甲羅や獣の骨に刻んだ字を研究して、漢字の成り立ちについての新しい考えを**はっぴょう**しました。

おうちの方へ

白川静博士(1910-2006)は、漢字研究の第一人者。中国古代人の生活や信仰にまで踏み込んで古代文字を分析。漢字の成り立ちについて、2000年来の解釈を覆す理論を打ち立てました。立命館大学白川静記念東洋文字文化研究所は、白川博士の研究成果を元に、東洋文字文化について広く社会一般を対象とした教育と普及を行い、また学術研究の分野において東洋文字文化研究の振興と高度化を図ることを目的に活動を行っています。

行けば、行くほどウレシイ「漢字探検隊員」になろう！

- 3回参加 予備隊員認定 **隊員証**授与。以降は隊員番号だけで申込可能。
- 6回参加 初級隊員認定 **自分の名前の古代文字シール**進呈。
- 9回参加 中級隊員認定 **隊員名刺**(20枚)進呈 + 過去欠席の会のカード1会分。
- 12回参加 上級隊員認定 **自分の名前の漢字カード**進呈 + 過去欠席の会のカード全て
- 13回目以降 教材費は一律**半額**。
- 15回参加で**準特級隊員**、20回参加で**特級隊員**に認定。立命館オリジナルグッズを進呈。
- 21回目以降 教材費は一律**無料**。
- 30回参加で**黄金隊員**、40回参加で**白金隊員**、50回参加で**黒色隊員**に認定。
白川研オリジナルグッズを進呈。